

## 第 23 回炉物理部会総会議事録

日時：3月30日(水曜日) (2005年春の年会第2日目) 12:00-13:00

場所：東海大学 湘南校舎 G会場(16号館 16-207教室)

### 1. 16年度活動報告

#### 1.1 16年度決算報告 (中島委員)

- ・H16年度の実績について説明あり。日韓炉物理国際会議事業など、行われなかった事業もあり、支出が少なかった。夏期セミナーはほぼ予算どおり。

#### 1.2 16年度編集活動報告 (青木委員)

- ・H16年度は「炉物理の研究」(通称赤本)を一回発行。H17年度はJNCの羽様氏が担当の予定。

#### 1.3 16年度学術研究交流活動報告 (宇根崎委員)

- ・H16年度は「社会とのかかわり」および「炉物理教育」に関する特別セッションを行った。「社会とのかかわり」については、次回(2005年秋の大会)で最終報告(とりまとめ)の予定。

#### 1.4 日韓協力について (島津部会長)

- ・日韓合同セッションに日本から三名派遣。このための旅費などを支給した。

#### 1.5 17年度の運営委員候補の選出 (島津部会長)

- ・運営委員の案について説明あり。

部会長：山根義宏(名大)

副部会長：関本博(東工大)

庶務幹事：山本章夫(名大)、小原徹(東工大)

学会企画委員会担当幹事：石川眞(JNC)

学会編集委員会担当幹事：中島健(京大炉)

学会炉物理委員会担当幹事：岩村公道(原研)

HP担当幹事：外池幸太郎(原研)、須山賢也(原研)、奥村啓介(原研)

財務小委員会担当幹事：山本俊弘(原研)、小坂進矢(テプシス)

編集小委員会担当幹事：羽間平(JNC)、吉岡研一(東芝)

セミナー小委員会担当幹事：関本博(東工大)、小原徹(東工大)

学術交流小委員会担当幹事：松本英樹(三菱重工)、山本敏久(阪大)

学生・若手小委員会担当幹事：伊藤佳央(CTI)、横山賢治(JNC)

## 1.6 その他

### 1.6.1 炉物理部会表彰制度について(島津部会長)

- ・ 本件については、炉物理部会としてまだ結論を出していない。
- ・ 部会として、若手を encourage する方向で進めるべきではないかとの意見があった。

### 1.6.2 フェロー会員推薦について(島津部会長)

- ・ 炉物理部会からは推薦なしとの説明があった。

### 1.6.3 部会報アンケートの結果について(中島委員)

- ・ 前回の部会報のアンケートによると、会報の電子化については、賛成 45 反対 1 で賛成が多い。配布方法についてはメールがよい 9、HP 閲覧 33 という結果。なお、ネットにアクセスできない部会員に対する配慮が必要、長期的な保存は問題ないかなどの意見あり。
- ・ 特に印刷物を望む部会員がどの程度いるか、調査を行うこととなった。

## 2.企画委員会報告（石川委員）

- ・ 次回から学会の予稿集は CD-ROM の配布のみとなる。
- ・ 専門分野の分類(301, 302 など)が現状の研究の実態と合わなくなっていることから、この分類の変更について検討中。
- ・ 日韓の交流セッションについては、部会の持ち回りで主担当を決めることを検討している。主担当の部会には 100 万円程度の補助が出る。持ち回りで行う場合、5 年に 1 回程度主担当が回ってくることとなる。
- ・ 次回の企画セッションの締め切りは 5 月 10 日。「社会とのかかわり」の最終報告を行う予定なので、担当者は準備をお願いしたい。
- ・ 企画委員、プログラム編成委員の変更あり。(企画委員 東北大 岩崎先生、プログラム編成委員 北大 辻先生、阪大 北田先生)

## 3.編集委員会報告（中島委員）

- ・ 学会誌に国際会議の paper を掲載する"supplement"の扱いをどうするか議論あり。インパクトファクターをあげるためには supplement を積極的に推進することとしたいが、赤字にならないように注意する必要がある。
- ・ その他、投稿規程の見直し、投稿規定の英訳などが進行中。

## 4. 17 年度の活動について（山根次期部会長）

### 4.1 17 年度活動案概要（山根次期部会長）

- ・ H16 年度と同様の活動を行う予定。

#### 4.2 17 年度予算案（山本(俊)委員）

- ・日韓セミナーなどの活動を継続しようとする、定常的に支出が収入を上回るようになる。つまり、慢性的な赤字体質となってしまう。前から議論されているが、定常的な財源が必要である。

#### 4.3 17 年度炉物理夏期セミナー準備状況（関本次期委員）

- ・日光で開催予定。
- ・最新の炉物理講義をメインテーマに据えて行う予定。講演は大学の教員に分担してもらうことを考えている。

#### 4.4 17 年度部会報編集活動案（羽様委員）

- ・JJ 統合関連の記事などを載せる予定。

#### 4.5 17 年度学術研究交流活動案（松本委員）

- ・「核データ・炉物理研究と社会の係わり」について、秋の学会で最終報告の予定。
- ・何らかのアクションプランを策定したいと考えている。

#### 4.6 その他

- ・なし

#### 5.部会懇親会（伊藤委員）

- ・3月30日 18:30 から東海大学駅前で行う予定。

#### 6.その他

- ・8月に独・カールスルーエで開催される Frederic Joliot & Otto Hahn Summer School on Nuclear Reactor の案内があった（宇根崎氏より）。